丘の子

令和３年度　豊丘村立豊丘南小学校
学校だより
NO. ６
令和３年　８月２６日

2学期始業式校長講話「白い虫と黒い虫」

夏休み中大きな事故、怪我もなく254名のお友達が元気に過ごせたことに感謝します。校長先生の夏休みの挑戦。なわとび10000回。無事達成できました。毎日積み重ねていくことの大切さを体験しながら感じることができました。皆さんの夏休みの挑戦はいかがだったでしょうか。

さて、夏休み中なわとびをしながらこんな事が私の頭をよぎりました。「あー疲れた。豊丘南小のみんなが見ているわけじゃないから、跳んだ回数をごまかしたって見つからないな」「だめだめ、校長先生なんだから子ども達と約束したことはちゃんと守らないと」。そんなとき、毛涯章平先生の「白い虫黒い虫」というお話を思い出しました。一学期「常に一流たるをめざせ」のお話をした毛涯先生です。それでは、お話を始めます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

私はこの頃、学校の玄関の廊下を通る時に、外に置いてある植木鉢に日が当たって、花がしおれているのに気づきました。そこで、鉢を日陰に入れてやろうと思って、下駄箱から靴を出そうとしました。すると、「めんどうだな。このまま出てもいいや」と、誰かが言うではありませんか。私は、早速、上履きのままでコンクリートの庭へおりようとしました。ところが、こんどは、「いけない。そこは上履きでおりる所じゃないじゃないか」と誰かの声がするのです。「ああ、そうだ。ここは四年生が毎日掃除をしてくれる所だったな」私は、そう思って、また靴を出そうとしました。すると、また、こう言う声がするのです。「だいじょうぶだよ。鉢は玄関を出て、五、六歩の所じゃないか。履いたり脱いだり、めんどうだよ」私は、「そうだとも、すぐにそこまでなんだ」と思って、一足おろしかけました。その時です。こんどは少し怒ったような声がしたのです。「じょうだんじゃない！みんなのきまりじゃないか。早く靴にはきかえろよ」これには、私もどきりとして、「ほんとうだ。約束は守らなくちゃ」と考えて、今度こそ靴をとり出そうと、下駄箱に手を近づけました。するとどうでしょう。もう、すっかり決めてしまったというように、誰かがこう言うのです。「いいんだ、いいんだ。君は今、忙しいのだし、だいいち、誰も見ちゃいないじゃないか。それに下はコンクリートだから、これぐらいでは、廊下は汚れやしないよ。さあ、行った行った」これを聞いて、私はとうとう上履きのままで玄関のコンクリートにおり、鉢を日陰に入れて、そのまま廊下に上がってきました。どうも、私のおなかの中には、白い虫と黒い虫がいて、いつも争っているようです。さっき、「上履きのまま、出たっていいじゃないか」と、言っていたのは、黒い虫の方で、「いけない、いけない」と言っていた方が、白い虫です。この二匹の虫が争って、さっきは、黒い方が勝ったのです。

「これぐらいは、ごまかしておこう」「しめしめ、だれもみていないぞ」「うそを言っても、わかるものか」
「勉強はいやだ。お使いもいやだ。歯みがきがなんかめんどくさい」
などと言っているのは、みんな黒い虫の勢いがいい時ですね。
「最後まで、がんばってやりとげよう」「正直に本当のことを話そう」「いやだけど、きめたことは、元気を出してしっかりやろう」
と言ってくれるのは、白い虫の方ですね。

私たちは、一生、この白い虫と黒い虫のたたかいを続けていかねばならないと思います。いくつになっても、黒い虫が勢いのよい時がありますが、最後に白い虫の方が少し強かったという人生を送りたいと思います。

それには、時々、おなかの中の両方の虫の声を、静かに聞くことが大事だと思います。お話は以上です。

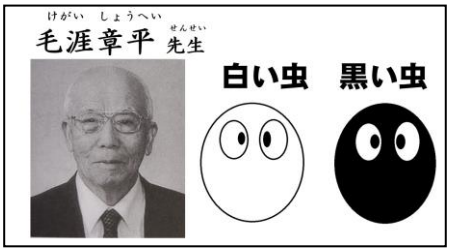
（「ふきのとうの餞別」より）

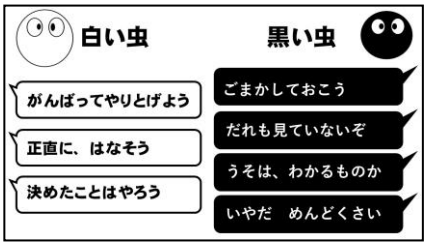
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

２学期86日間が始まりました。私たちの心の中にいる白い虫と黒い虫のたたかいも始まりました。二学期、白い虫の方が少し強かったという学校生活を送ることができればすばらしいですね。それには、毛涯先生がおっしゃるように、時々、自分のおなかの中の両方の虫の声を、静かに聞くことが大事だと思います。

最後に、校長先生から全校のみなさんに大切なお願いがあります。（難しい言葉もでてきますので、担任の先生方、後からフォローをお願いします）

新型コロナウイルス感染拡大が日本中に広がり、長野県そして下伊那地域でも新たな陽性者が増えてきています。また、感染力の強い「変異ウイルス」による感染も増えています。こうなってくると、どんなに気をつけていても、タイミング悪くウイルスに出会ってしまうことは誰にでも起こりえます。そこでお願いです。これから近所の方やお友だちが新型コロナウイルスに感染することもあるかもしれません。そのような時には、その人に対して思いやりの心をもって行動できる人でいてください。





《子ども達の感想より》

〇黒い虫と白い虫があらそっているって、ぼくも迷ってあらそったことがありました。（3年生）

〇始業式では校長先生が「白い虫と黒い虫」の話をしてくれました。前どこかできいたことがある話でした。ぼくは、二学期から白い虫が勝つようにしたいです。（5年生）

〇「白い虫と黒い虫」のお話がありました。お話を聞いて、私も黒い虫がでてしまっているかもしれないなと思いました。なので、二学期86日間白い虫でいられるように意識し努力したいと思います。（5年生）

二学期が始まり、子ども達の声が学校に響いています

夏休み中、立派に生長した1年生の朝顔、2年生の大豆が学校にもどってきました。

水やり、観察をする朝のひとときです。

夏休み中の力作が廊下に展示されました。今月いっぱい「夏休み作品展」です。

新型コロナウイルス感染症に関わっての学校生活、二学期行事等については、明日配布される「二学期の学校行事・PTA行事について」のお便りをご覧下さい。